

学年	高校 2 年	教科	国語	科目	古典探究	単位数	3
教科書名	古典探究（数研出版）			副教材名	精説漢文改訂版（いっずな書店） 読んで見て覚える重要古語単語 315 三訂版 （桐原書店） 新精選古典文法改訂版（東京書籍） 読み解く古典 2（浜島書店）		
コース・クラス	選抜・N 進文系						

I. 目標

古典としての古文と漢文を読む能力を身に付けることを通して、ものの見方、感じ方、考え方を広くさせ、古典に関心を持たせる。

II. 授業のねらい

古典に表れているさまざまなものの見方、感じ方、考え方を、古典についての解説や随筆なども参考にしながら、的確に読み取らせる。これを通して、思考力や想像力を伸ばし、豊かな感性や情緒を育むことにより、人間としての資質の形成をねらいとする。本文内容の正確な理解、作品の背景、漢詩漢文が日本に与えた影響などを学習させる。

III. 授業の進め方

- 1 文法理解、文章内容の読解を主とし、ICT 授業を展開し学習を進める。
- 2 文法事項や表現技法は、副教材やプリントを用いながら学習していく。
- 3 ipad で辞書や Classi ノートを活用し、視覚的要素も利用しながら理解を深める。

IV. 学習上の留意点

- 1 教科書の新しい単元に入る際は、予習として語句の意味調べや作品の通読を行うこと。
- 2 古語単語小テストの年間計画を確認し、事前に学習しておくこと。

V. 定期試験

- | | | | |
|------|------|---|---------------------------------------|
| 1 学期 | 中間試験 | : | 用言・助動詞の活用、『十訓抄』、漢文基礎知識、漢文故事、初見問題、古文単語 |
| 1 学期 | 期末試験 | : | 助動詞の活用、『枕草子』、漢文史伝、漢文句法、初見問題、古文単語 |
| 2 学期 | 中間試験 | : | 文法総復習、『大鏡』、古文文法、漢文思想、漢文句法、初見問題、古文単語 |
| 2 学期 | 期末試験 | : | 『源氏物語』、古文文法、漢文思想、漢文句法、初見問題、古文単語 |
| 3 学期 | 学年末 | : | 『伊勢物語』、古文文法、漢文文章、漢文句法、初見問題、古文単語 |

VI. 評価の方法

- 1 定期試験・進研模試・スタディサプリ…授業内容を理解し、それを応用することができる。
- 2 小テスト…計画的に自学自習を行い、意欲的に小テストに臨むことができる。
- 3 提出物…積極的に授業に参加し、課題に対して期限を守り、真摯に取り組むことができる。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	・用言・助動詞の復習	・定期試験 ・小テスト ・提出物	・用言、助動詞を理解し、読解に活かせる。
	5	・説話 『十訓抄』 大江山 ・『新精選古典文法』 用言・助詞・助動詞		・作者の感じ方、考え方を知り時代とのかかわりについて考えることができる。
	6	・『精説漢文』 漢文の構造、否定		・登場人物の心情を読み取ることができる。
		・故事 『説苑』 江南橘		・正確な書き下し文、現代語訳ができる。
		・『枕草子』 御前にて人々とも ・『新精選古典文法』 助詞・助動詞・副詞		・助詞、助動詞を理解し、読解に活かせる。
	7	・史伝 『史記』 四面楚歌 ・『精説漢文』 疑問・反語		・句法、助字、語句の知識を生かして本文を理解することができる。
		・問題演習		・問題演習に取り組み、解き方を理解する。
二学期	9	・『新精選古典文法』 ・『大鏡』 南院の競射	・定期試験 ・小テスト ・提出物	・助動詞の知識を定着させ、読解に活かすことができる。
	10	・思想 『論語』『孟子』『荀子』 ・『精説漢文』 使役・受身		・文学の背景を理解する。 ・登場人物や場面状況に即して心情を理解することができる。
		・『源氏物語』 光源氏誕生 ・『新精選古典文法』		・漢文における句法、助字、語句の意味をおさえる。
		助詞・助動詞・敬語		・登場人物や場面状況に即して心情を理解することができる。
	11	・思想 『老子』『莊子』『韓非子』 ・『精説漢文』 仮定・抑揚		・中国の歴史的背景を理解する。
	12	・問題演習		・問題演習に取り組み、解き方を理解する。
三学期	1	・問題演習	・定期試験 ・小テスト ・提出物	・応用問題にも対応できる力を身につける。
	2	・『伊勢物語』 通ひ路の関守 ・『新精選古典文法』 総復習、和歌の修辞法		・和歌の修辞法を理解し、読解に役立てることができる。
	3	・文章 『楚辞』 漁父辞 ・『精説漢文』 総復習		・漢文の句法を押さえつつ、読解をすることができる。

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。